

事前評価個表

整理番号	17
------	----

地域（地区）名	よしのがわ 吉野川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	徳島県	対象市町村	とくしまし 徳島市ほか15市町村
事業実施期間	H29 ～ H33（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は徳島県の北部に位置し、北は讃岐山脈、南は剣山系の諸連峰にはさまれた7市8町1村からなっている。</p> <p>本地区の森林面積は186千ha（森林率70%）、対象民有林は173千ha（森林全体の93%）、うちスギ、ヒノキを主体とする人工林は97千ha（人工林率56%）、主に間伐が必要となるⅤ～ⅩⅡ齢級が77千ha（人工林の79%）を占めており、健全な森林を育成して行く上でも間伐等の森林整備が必要となっている。</p> <p>また、本地区は、四国の重要な水源である吉野川への水の供給源として重要な地域であるが、近年、木材価格の低迷による林業の採算性の低下、所有者の経営意欲の減退や林業従事者の高齢化に伴う人手不足等の影響もあり間伐等の手入れが遅れた森林が増加するなど、森林の有する水源涵養等の公益的機能の発揮へ支障をきたすことが懸念される。</p> <p>このことから、本県では、より効率的に施策を実施するための基盤整備や多様化する木材ニーズへの対応を図る「新次元林業プロジェクト」による川上から川下までが一体となった木材の生産・流通・加工体制の構築と新たな人材の育成・確保に取り組み、適時適切な森林整備を目指しているところである。</p> <p>本事業では、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るために、効率的な施策に不可欠な路網整備と森林経営計画等に基づく、造林、保育、間伐、更新伐等の適切な森林整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：6,357ha 人工造林、樹下植栽、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：3,203m 林業専用道</p> <p>総事業費：4,774,168千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 3.44 (総便益(B) = 25,398,152千円、総費用(C) = 7,385,505千円)</p>
評価結果	<p>必要性：水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する多面的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

都道府県名:徳島県

地域(地区)名:吉野川^{よしのがわ}

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	6,155,681	
	流域貯水便益	1,752,237	
	水質浄化便益	3,846,875	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,408,521	
	土砂崩壊防止便益	162,531	
環境保全便益	炭素固定便益	4,404,212	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	16,696	
	木材利用増進便益	43,888	
	木材生産確保・増進便益	1,319,702	
森林整備経費縮減等便益	治山経費縮減便益	95,351	
	森林管理等経費縮減便益	265	
	森林整備促進便益	192,193	
総 便 益 (B)		25,398,152	
総 費 用 (C)		7,385,505	
費用便益比	$B \div C = \frac{25,398,152}{7,385,505} = 3.44$		

森林環境保全整備事業 吉野川地域（徳島県）



徳島県

凡例	
———	国(県)道
———	2.5米以上の道路
———	1.5米以上の道路
———	小川
———	河川
———	市界
———	町界
○	市庁舎
○	町庁舎